

がん教育実施報告書

学校名	郡山市立郡山第四中学校
実施対象者 (学年・保護者など)	2 学年
教育課程の位置づけ	体育・保健体育 道 徳 学級活動・HR 活動 講演会・行事 その他 (総合的な学習の時間)
実 施 日 時	令和6年10月16日(水) 14:35~15:25
打合せについて	【1回目】方法：電話 内容：講演内容、日程、準備物確認
	【2回目】方法：メール 内容：講演内容
外部講師 職・氏名	職名 郡山市保健所 健康づくり課 健康増進係 主任 氏名 鈴木 理恵子
実 施 内 容	<p>講話「がんについて学ぼう」</p> <p>①がんってどんな病気？ 細胞分裂するときに変異し悪性化したものが「がん」である。</p> <p>②日本のがんの現状 1981年から死亡原因の「1位」である。 性・年齢別に主な死因をみると男女に違いがみられる。</p> <p>③がんの予防 稀に原因不明なこともあるが、望ましい生活習慣により、がんになるリスクを減らすことができる。 「禁煙」「節酒」「食生活を見直す」「身体を動かす」「適正体重維持をする」「感染症の検査を受ける」「ストレスをためない」</p> <p>④もしも、がんになったら？ 治療法は「手術療法」「放射線療法」「化学療法」が主なもので、がんの種類や病気・患者の状況に合わせ、その人の生活の質を少しでも高くなるよう「こころの痛み」もケアする治療を行うことができる。</p> <p>⑤がんの患者さんへの理解を 言葉がけをする際、同じ言葉でも関係性や会話の場面、言葉のニュアンスなどにより伝わり方が違うことを知っておくことが重要である。</p>
	

成 果 等

【生徒の感想】

・「二人に一人ががんになる」や「福島県は、たばこを吸う人の割合や塩分摂取量が全国で1位や2位」ということにとっても驚きました。自分や周りの人たちが、がんにならないためにも、がんのことについてしっかり理解し、生活習慣も少しずつ見直していきたいと思いました。

・話を聞いて、特に共感したのが、がんにかかった人が言われて悲しい言葉に、「かわいそう」という語句が入っていたことです。私は、病気や障害をもっている人でも、楽しく、自分の個性を大切にして生きられるような社会をつくっていきたい」と思いました。

【外部講師を活用してよかった点】

がんについての知識を学ぶだけではなく、自分や身近な人ががんになった場合、どのようなことができるか自他の健康と命の大切さについて考える良い機会となった。